

公示

独立行政法人国際協力機構契約事務取扱細則（平成15年細則(調)第8号）（以下「細則」という。）に基づき下記のとおり公示します。

2021年11月10日

独立行政法人国際協力機構
契約担当役 理事

調達管理番号	21a00773
調達件名	バングラデシュ国看護サービス人材育成プロジェクトフェーズ2
目的	<p>技術協力プロジェクト「看護サービス人材育成プロジェクト（2016年～2020年）では、バングラデシュの看護人材の質の確保のために、ダッカ看護大学（以下、「DNC」という。）、ダッカ医科大学病院（以下、「DMCH」という。）において、看護行政の強化、看護教育の体制強化、臨地実習能力の強化の3つの柱で支援した。その結果、看護行政においては看護大学における認証の仕組みの拡大を実施し、DNCが大学として初めて認証を受けることとなった。また、看護人材の効率的な配置を支援するための人材データベースを整備した。看護教育の体制強化については、DNCにおいて大学内外の調整と活動促進のための4つの委員会を立ち上げ、カリキュラムに基づく看護教育の体制強化や看護研究の推進を行うための学内の体制を整備した。また、臨地実習能力の強化については、DMCHの学生受け入れ病棟に臨地実習指導者を配置、育成し、DNCとの連携の下、効果的に臨地実習を行うための仕組みを強化した。一方、看護行政に関する支援として計画していた看護師の職務規定の改訂、キャリア・パスの開発といった長期的な視点に基づく看護人材の卒後キャリアへの支援は、バングラデシュ側看護行政組織の頻繁な人事異動もあり、その取り組みは不十分となった。看護大学に拡大された認証の仕組みについても、認証の実施機関である看護助産審議会（以下、「BNMC」という。）の認証実務に係る体制に課題が残っており、認証を受けた大学はDNC1校のみにとどまっていることから、BNMCの更なる能力強化と他の看護大学への認証の拡大が必要である。また、DNCで実施された看護教育体制の強化や実習病院側との連携の下での臨地実習については、バングラデシュ政府から医療サービスの質の向上に繋がっているとの評価を受けている。このような看護行政の能力強化及び看護人材育成支援の他大学への展開の必要性から、本案件が実施されるに至った。</p>
業務種別	コンサルタント等契約-業務実施契約-【事業実施・支援業務】技術協力プロジェクト
仕様等	企画競争説明書による
履行期間	2022年2月4日 ～ 2026年1月30日
選定方法	企画競争
業務量（人月）想定	79 人月
競争参加資格	<p>公告・公示日において有効である全省庁統一資格を有すること。</p> <p>日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であること。</p> <p>契約事務取扱細則第4条に該当しないこと。</p> <p>その他、企画競争説明書に記載の参加要件に該当すること。</p>
企画競争説明書配布依頼受付期限及び方法	<p>2021年11月16日 12時00分</p> <p>https://www.jica.go.jp/announce/notice/distribution.html</p>
プロポーザル提出期限	2021年12月10日 12時00分
その他	その他詳細は企画競争説明書による

以上